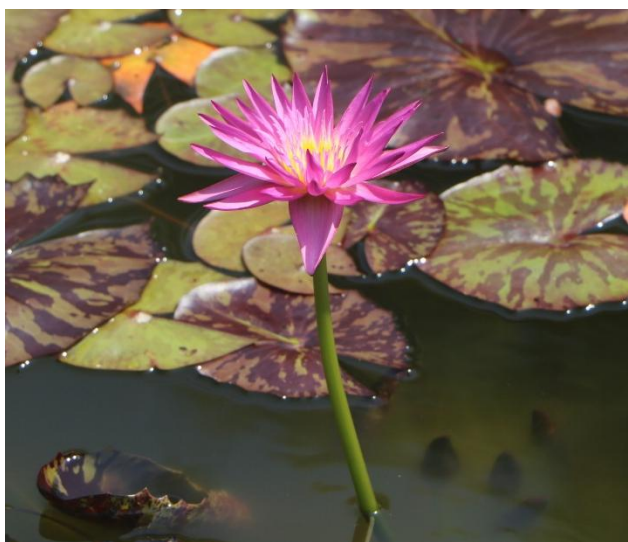
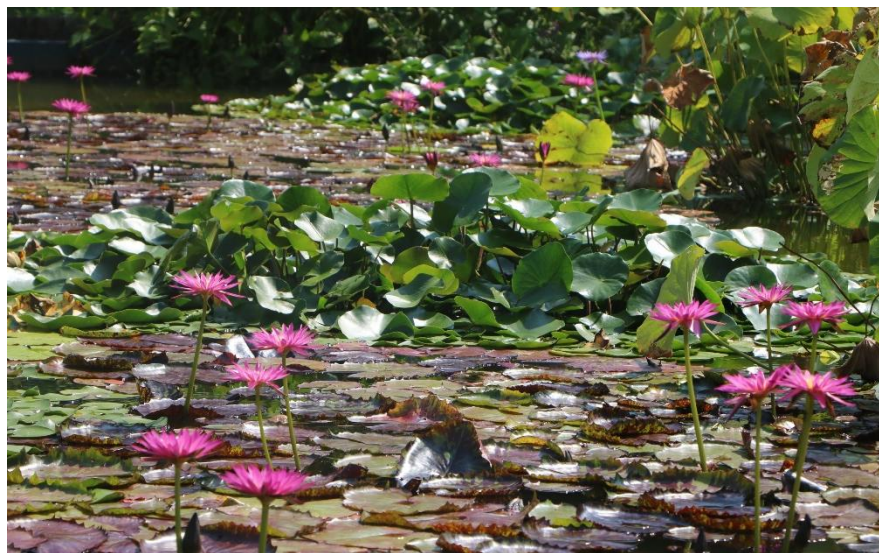




2026年8月31日

残暑を彩る 熱帯性スイレンとケイトウ見頃



二十四節気の「処暑」に入り、暦の上では暑さが収まる頃とされていますが、まだまだ残暑厳しい日々が続いています。うみなかでは、夏から秋にかけて咲く花々の中で、**「熱帯性スイレン」、「ケイトウ」が見頃を迎えています。**熱帯性スイレンは、温帯性には少ない紫や青などの花色と、水面から飛び出した花茎が特徴です。ケイトウは紅色と山吹色などの燃えるような色彩が遠くからでも目を引きます。どちらも色とりどりの花が咲き、園内を鮮やかに彩っています。

うみなか×西戸崎
×志賀島観光情報

SNSやってます

動物の森YouTube
チャンネル

お問い合わせ：国営海の中道海浜公園
海の中道管理センター 広報係 山下・立山

TEL：092-603-1300
FAX：092-603-1199

うみなか

〒811-0321 福岡市東区大字西戸崎18-25



■熱帯性スイレン



熱帯性スイレン	
分類	スイレン科スイレン属
原産地	熱帯アフリカなど
場所	フラワーミュージアム
数	100株
見頃	8月下旬～9月下旬



うみなかの熱帯性スイレンは温室で冬を越し、8月～9月にかけて屋外で花を咲かせます。花は、マゼンタピンクや紫、青など鮮やかな花色が特徴です。名前の通り、暑さに強く猛暑が続くうみななかでも、元気に咲いています。空中に向かって伸びた花は水面にも映り、絵画のような雰囲気演出します。

■ケイトウ



ケイトウ	
分類	ヒユ科
原産地	インド、熱帯アジア
場所	彩りの花壇
数	約540㎡、約4,000株
見頃	9月上旬～10月下旬



同じヒユ科の「ハゲイトウ」も見頃

ケイトウはヒユ科の一年生植物。花は鳥の羽毛を束ねたように厚く盛り上がり、ニワトリのトサカに似ていることから「鶏頭」と呼ばれています。奈良時代の万葉集に詠われており、昔から親しまれている秋の花です。彩りの花壇では、初めての植栽となります。